



2022-23 年度
国際ロータリー会長
ジニファー・ジョーンズ

Weekly Report Niigata



2022~23 年度
新潟ロータリークラブ会長

石川 治彦

新潟 RC 3月第 3例会 (2023.3.28) (Zoom 例会併催) No.3452

(1) ロータリー——ソング「それでこそロータリー」

ピアノ演奏

(2) 石川 治彦会長挨拶

本日はと言いますか今回から新潟出身の庭師田中泰阿弥のお話をします

本日はお庭の写真はあまり出てきません・・ともかく新潟出身のこの田中泰阿弥を知っていただきたくて

その序章として生まれからその仕事ぶりについてご紹介したいと思います。

田中泰阿弥は孤高の庭師と呼ばれ、京都を拠点に昭和の時代に作庭家として活躍しました。

田中泰阿弥は笠原家の出身で、明治 31 年 1898 年に新潟県柏崎にて生まれました。

笠原家は農家でしたが、「松屋」屋号を持つ庭師である相沢熊蔵の弟子であった泰阿弥の兄、笠原米作の下で 10 代から庭園作庭の手伝いをしていました。

この相沢熊蔵も江戸期の庭師で元は徳川家などの庭に出入りしていたのですが、明治維新と共に情勢も変わり、渡り職人として、前橋、松本、そして、落ち着いた先が、柏崎だったという事です。当時「松屋の爺さん」と呼ばれていたそうですが、庭仕事を学ぶための弟子が数多くいたそうです。そして笠原家の長男米作も最晩年の弟子でした。

地元での修行の後、尋常小学校卒業と共に東京の植木屋へ奉公に出ていました、そして兵役を終えた後に 20 歳のとき兄・米作の添え書きを持って京都の庭師・中村満次郎もとへ弟子入りしました。修行を重ねそして、渡り植木職人として転々しますが、最後に「植治」こと小川治兵衛のもとに身をよせます。その間、茶道のけいこをしていたのが縁で、田中家の養子となり、田中泰治となりました。

1929 年(昭和 4 年) 銀閣寺で行われた茶道のけいこに加わっていた折、銀閣寺「洗月泉(せんげつせん)の滝の石組」を発見、その後「相君泉(そうくんせん)の石組」を発見します。その後、古庭園の発掘や歴史を持つ庭園の修復、銀閣寺や金閣寺とりわけ夢想国師の作庭になる京都天龍寺

などの庭園修復の機会を得る事が出来、そしてその事はその後の作庭に大きな影響を受けたと思われます。

その後独立し、客人の元を宿にしながらの生活が続きます。

そんな田中泰阿弥は京都を拠点としますが、判っている所では京都での作庭は僅かで、作庭する主な仕事は新潟、東京、鎌倉等が多かったようです。

つまり京都の家にはほとんど帰らず仕事の旅をつづけていました。最晩年の手紙の中に

「…四十年も旅を続けてきて、たまに家に帰ると、テレビをつけても駄目、無暗に話しかけても駄目では、家にいない方が家人にとって良いのではと思えて…」という手紙の文面があります。そんな旅の最中、歌を作り書画を描く事が楽しみの一つであったようで、数多く残されています。

また泰阿弥は多くの茶室を設計しています。茶室といえば、大工は数寄屋大工という専門職となっている側面がありますが、好んで一般の大工を使った節があります。

おそらく決まりきった納まりを好まなかったのでありましょう。また、使用している木材も山取り自身で行いました。このお茶室も材木屋で買ってきたのは天井の板のみで、あとは山取りの材木や足場の杉材を使用しています。足場材の番線の跡さえも景色と見立てて使ったのだそうです。

それ故後ほどご紹介する、新発田の清水園の茶室を見ても、これらが昭和三十年頃に出来たものと感じさせない出来栄となっているのも、古庭園を研究した泰阿弥ならではの所だと思えます。茶室と庭を全て一人で計画しているので、軒内というような、どちらの領域ともつかない場所の造り方が、実に巧みで、まさに泰阿弥の独壇場があります。

仕事に対してはいつも真剣でいろいろなエピソードが残されています。例えば、石組の作業中、石と石が触れ合う、つまり、ゴリッと合口が収まる音で、おさまりの良し悪しを判断したとか、また、庭あるいは建築の仕事でも気に入らない所は徹底的に直させた様で、例えば、左官工事等では、黙って足で蹴って仕上げた壁を壊してしまうといった具合。現場からは次々に職人が姿を消してしまう有り様でした。

この様な先人たちを私たち新潟の庭屋は勉強するため平成6年1994年に田中泰阿弥研究会を発足しました。

泰阿弥の作庭した庭に赴き庭園と建築の実測調査を行いパネル展などを開催しました。

まさに稀有な人物で、この様な人が世の中から忘れ去られてはならない。とそしてこのような新潟出身の庭師がいたことを皆様にも知っていただければと思っております。

(3) 米山奨学生テイ・ケンビンさん奨学金贈呈・挨拶

今日が最後の例会出席となりました。ほとんど自分から会員の方に話かけることも致しませんでした。がご支援のお陰で今年から中国で仕事をすることになりました。おいでの際にはお声がけ下さればご案内させていただきます。有難うございました。

(4) 退会ご挨拶 (会長よりバナー贈呈)

- ・清水建設(株)北陸支店新潟営業所長 東海幸一君
- ・明治安田生命保険(相)
新潟支社市場統括部長 甚野太郎君
- ・ダイダン(株)新潟支店長 柏木 春彦君

(5) 新会員の紹介



(株)JTB 新潟支店
支店長 馬場亮君
御紹介者 石川 治彦君
所属委員会 親睦委員会

(株)JTBの馬場と申します。この度、歴史と伝統のある新潟ロータリークラブに入会を承認いただきましてありがとうございます。私は、東京生まれ神奈川県育ちで自宅は横浜にあり、家族は妻と息子が一人ずつおります。

前任地の神奈川県横須賀市では、横須賀ロータリークラブに3年間お世話になっておりました。新潟の歴史・文化などを学び、初めての新潟生活を楽しまたいと思います。新潟ロータリークラブの一員として微力ながら努力してまいりますので、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(6) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(田中孝佳 委員長)

石橋 正利君 石川 治彦君

(7) ニコニコボックス紹介(関川 博信委員長)

・東海 幸一君 新潟ロータリークラブでの3年間、本当にありがとうございました。新潟まつりの民謡流し、新潟シティマラソンは今年も参加します。

・柏木 春彦君 転勤の為、3月末をもって退会させて頂く事になりました。短い間でしたが大変お世話になりました。ありがとうございました。

・馬場 亮君 本日よりお世話になります。どうぞよろしく願います。

・本間 利夫君 誕生日のワインありがとうございました。

・小林 慶直君 結婚記念日のお花ありがとうございました。

(8) 幹事報告(高野 潤幹事)

例会終了後、新会員オリエンテーションを4階「雪の間」で開催致します。

(9) 会員会員スピーチ「日本銀行新潟支店について」

日本銀行新潟支店長 小林 俊君

(10) 3月28日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
86	83	65	78.31

Zoom参加 11名

次回例会は4月4日

第一例会につき卓話なし

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>